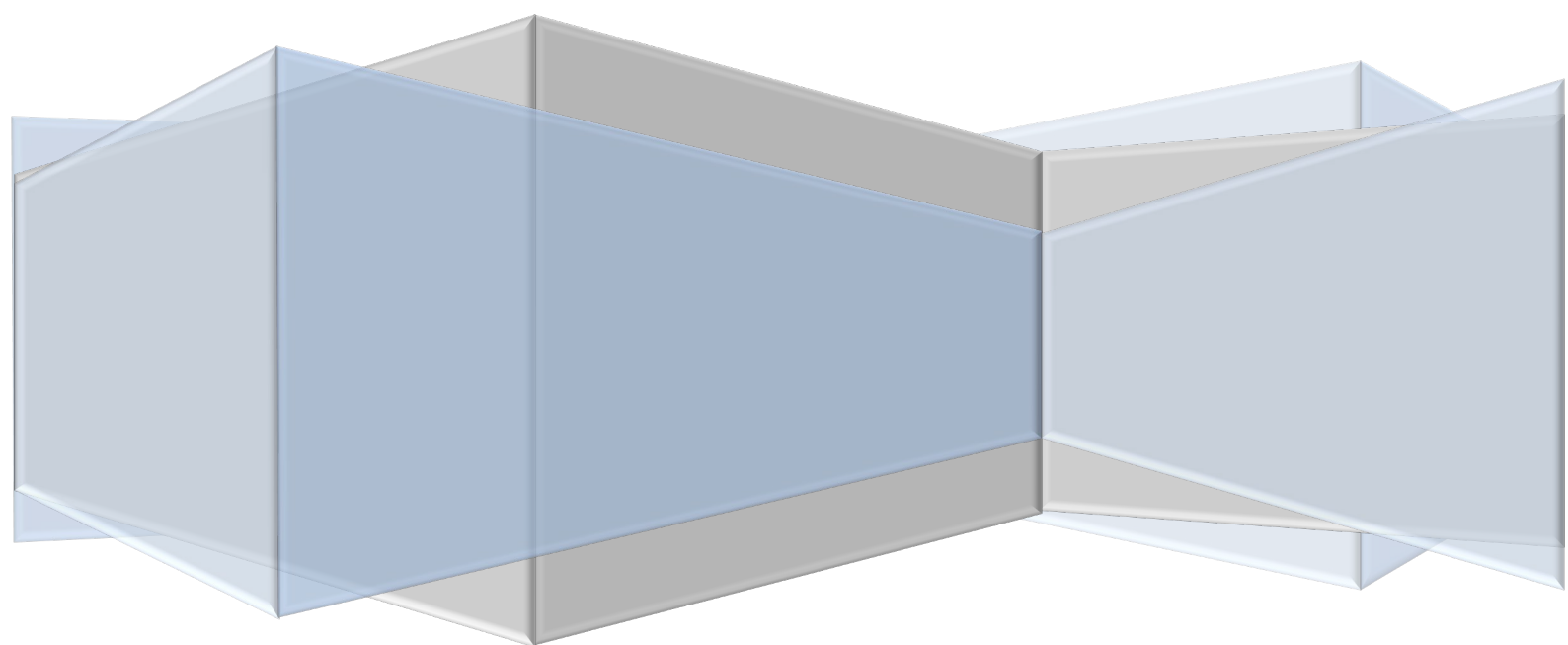


富山大学医療人教育室 2024 年度報告書



医療人教育室報告書 2024 年度

～目次～

室長ご挨拶

医学部長 関根 道和 -1

I 医療人教育室について -2

1. 教室概要
2. 室員紹介
3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室の設置に関する内規

II 各分野からの報告 -5

医学科教務委員長 伊藤 哲史
薬学部教務委員長 宗 孝紀
看護学科教務委員長 西谷 美幸

III 2024 年度活動報告 -9

1. 医療人教育
2. 医療人教育室運営管理
 - 1) 医療人教育室運営会議
 - 2) 広報活動

IV 2025 年度活動計画案 -11

室長ご挨拶

地域連携と多職種連携で取り組む「良き医療人」の養成
ー富山大学医療人教育室年次報告書の発刊にあたってー

富山大学医学部と薬学部的前身である富山医科薬科大学における建学の理念は、「里仁為美」（論語）です。「何事にも仁の精神（思いやりの心）を持って取り組むべきである」といった意味になることから、医学部と薬学部は、思いやりの心を持った「良き医療人」の養成に取り組んできました。

医療人教育室は、思いやりの心を持った「良き医療人」を養成するための組織として設置されました。医療人教育室の主な活動は、①入学から卒業まで一貫した医療人教育の実施、②医学・薬学・看護学の共通教育（「医療学入門」や早期介護体験実習などの多職種連携教育）の実施、③医療人教育のための研修会の実施、④医療人教育に必要なリソースの充実、⑤国際交流に関する人材養成です。

この中で、とくに重要な医療人教育は、医学・薬学・看護学の初年次生を対象とした「医療学入門」です。2000年の開講からすでに20年以上が経過し、「医療学入門」の内容も社会情勢の変化に対応して変化していますが、思いやりの心を持った医療人を養成するという教育目標は、開講当初から変更ありません。その目標を達成すべく、医学生、薬学生、看護学生が、プロフェッショナリズム、コミュニケーション、医療人・患者関係、全人的医療、医療倫理、医療と社会などを、多種多様な背景や専門性をもつ講師のもとで合同学習します。

また、「医療学入門」における早期介護体験実習では、良き医療人となることを志して入学した学生が、入学早期に地域の介護や福祉の現場に出向いて「食事」、「排泄」、「入浴」といった基本的な介護を体験し、現場の方々や利用者の方々と交流するなかで、生きるとは何か、健康とは何か、障がいとは何か、老化とは何かなど、人間の一生について考え、医療人としてのあるべき態度を身に着けます。

こうした教育は、地域の皆様を含めた関係者の皆様のご理解ご協力なくしては成立しません。年次報告書の発刊にあたり、医療人教育室の活動に関わるすべての皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

医療人教育室長
関根 道和

I 医療人教育室について

1. 教室概要

医療人教育室は、学部教育、医療学教育、医療人教育、国際交流連携などの学務業務を全般に補完し、保健医療分野の人材育成を目的に以下の業務を行っております。

1. 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価と支援に関する業務
2. 医学・薬学・看護学の共通教育に関連する業務
3. 医療人の教育・研修機会の提供に関する業務
4. 医療・福祉に係わる教育資源の開発、維持、充実に係る業務
5. 国際交流に関連した人材育成に関する業務
6. その他医療人教育に関する業務

2. 室員紹介

室長	関根 道和	医学部長、(医学)疫学・健康政策学 教授
副室長	高村 昭輝	(医学)医学教育学 教授
室員	中野 実	薬学部副学部長、(薬学)生体界面化学 教授
	伊藤 哲史	医学科教務委員長、(医学)システム機能形態学 教授
	西谷 美幸	看護学科教務委員長、(医学)基礎看護学Ⅰ 教授
	宗 孝紀	薬学部教務委員長、(薬学)分子細胞機能学 教授
	石木 学	保健管理センター杉谷分室 准教授

オブザーバー

松田 高典	杉谷地区事務部学務課
大坂 理美	杉谷地区事務部総務課
森本 ひより	杉谷地区事務部学務課

事務補佐員

永井 梓

3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室に関する内規

(目的)

第1条 富山大学杉谷キャンパスに、医学、薬学及び看護学の連携の基に医療分野の人材育成を体系的に進めるため、医療人教育の組織化を図ることを目的として、医療人教育室を置く。

(組織)

第2条 医療人教育室は、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

(1) 室長

(2) 副室長

(3) 医学部教授会及び薬学部教授会（以下、「各教授会」）から選出された教員 若干人

(4) その他室長が必要と認めた者

2 室長は、医学部長又は薬学部長をもって充てる。

3 副室長は、第1項第3号及び第4号の室員のうち、室長が指名する者をもって充てる。

(室員の任期)

第3条 第2条第1項の室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

(業務)

第4条 医療人教育室は、次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援に関する業務

(2) 医学、薬学及び看護学の共通教育の連携に関する業務

(3) 医療人の教育及び研修機会の提供に関する業務

(4) 医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実に係る業務

(5) 国際交流に関連した人材育成に関する業務

(6) その他医療人教育に関する業務

(称号の付与)

第5条 室員に、次の各号に掲げる称号を付与することができる。

(1) 医療人教育室教育教授

(2) 医療人教育室教育准教授

(3) 医療人教育室教育講師

(称号の付与手続)

第6条 称号の付与は、各教授会の意見を聴いて室長が行う。

(称号付与基準)

第7条 各称号付与の基準は、次に掲げる者で医療人教育に優れた能力を有するものとする。

- (1) 医療人教育室教育教授 10年以上の医療人教育の経験を有する者又は特に優れた医療人教育の経験を有する者
- (2) 医療人教育室教育准教授 6年以上の医療人教育の経験を有する者
- (3) 医療人教育室教育講師 4年以上の医療人教育の経験を有する者

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、医療人教育室に関し必要な事項は、各教授会の意見を聴いて室長が別に定める。

附 記

この内規は、平成18年10月18日から実施する。

附 記

この内規は、平成19年4月1日から実施する。

附 記

この内規は、平成23年6月15日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年6月19日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年9月25日から実施する。

附 記

この内規は、平成26年3月19日から実施する。

附 記

1 この内規は、平成28年1月1日から実施する。

2 この内規実施後、最初に選出される室員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

附 記

1 この内規は、令和元年11月27日から施行し、令和元年10月1日から適用する。

2 この内規の施行日の前日において改正前の第2条第1項第3号の室員であった者は、この内規により医学部教授会又は薬学部教授会から選出されたものとみなす。ただし、任期については、第3条の規定にかかわらず、令和2年3月31日までとする。

Ⅱ 各分野からの報告

多職種連携の取っ掛かりとしての「医療学入門」

医学科教務委員長 伊藤哲史

医学科・看護学科・薬学科・創薬科学科の 1 年次学生の合同で行われる「医療学入門」は、入学当初から医療人としての第一歩を踏み出したことを自覚するうえで極めて重要な位置づけとなる科目であり、それとともに職種間の連携体制の意義を理解するよい機会となっています。

4 月 26 日にアイスブレイキングとしてのディスカッションを行いました。初対面の各学科の学生が集まって、医療とはあまり関係のなさそうな問題に協力して取り組みました。このようなことを時間をかけて行うのは意味がないのではないか、と思う人もいたかもしれませんが、しかしながら、メンバーの意見を集約し、取捨選択したうえでグループとしての意見を表明する、という一連の作業こそが多職種連携の基本であり、私達がこの科目で重視しているものなのです。

5 月 11 日に行われた今年の立山研修では、昨年度に引き続き立山室堂に到達することができました。それまでの 3 年間はコロナ禍や道路の封鎖など様々な理由で行くことができませんでした。このように立山研修は自然という制御不可能なものによってスケジュールが臨機応変に変更され、学生たちもその場で状況に適応する必要がある、という点で少し医療現場とも近い点があるのかもしれません。この立山研修では、上述ディスカッションと同じグループで室堂を散策し、美しい風景をともに楽しみ、学生たちに良い記憶として残ったのではないのでしょうか。

夏に行われた介護体験実習では、学生は介護の現場を学ぶことができました。学生たちのレポートでは、日本の介護の現状、その意義と課題について、現場を踏まえた議論が行われており、短い期間の実習ながら、多くのことを吸収したことが伺えました。

このほか、チーム医療への関わり方や、患者家族の方からのお話など、例年踏襲されている教育も順調に行うことができました。全般として、担当教員、事務職員、外部講師、そしてご協力いただいた医療施設の皆様のご尽力のお陰で、十分な学修成果が得られたものと考えます。学生からのアンケートも概ね良好でありました。今後もこれまでと同様良い学修につなげるべく、医学科としても引き続き協力してまいります。

薬学生と「医療学入門」

薬学部教務委員長 宗 孝紀

「医療学入門」は、薬の専門家を目指して大学で学び始めた薬学生に、多くの学びと気づきを提供する授業です。この授業は、医療学概論、イタイイタイ病資料館の見学、医療系4学科による合同グループワーク、心肺蘇生法の講習、立山室堂での野外研修、医療倫理や医療と社会をテーマとした実務経験豊富な教員による講義、そして早期介護体験実習で構成されています。これらを学ぶことで、患者の心に寄り添い、共感を持って温かく接することのできる「よき医療人」の育成を目指しています。

少子高齢化が進む我が国では、社会保障費の高騰、医療人材の不足、認知症患者の増加などにより、将来の医療環境に大きな変化が見込まれています。また、創薬力の強化や地域包括ケアシステムにおける薬剤師の活躍が一層期待されています。このような社会背景の下、「医療学入門」は「よき医療人」を育成する上で重要な多職種連携に関する教育プログラムを学生に提供しています。

早期介護体験実習では、病める人々への専門的な対応に先立つ教育として、「生」について学生自身が共に考えることを目標に掲げています。実習では、手洗いや消毒など感染を防ぐ工夫を実践し、要介護者や介護職員とのコミュニケーションを通じて、要介護者の食事、排泄、入浴、移乗などに参加します。この体験を通じて、学生は人間の尊厳に気づき、介護や障害とは何かを考えるとともに、相手の立場で考えることやコミュニケーションの重要性を学んでいます。以下は、実習後の学生レポートに記載された内容の一部です。

- 言葉や行動にしなくても考えていることは相手に伝わるということを実感したことで、人と対面する上で私には欠けている、見直さなければならない要素であると自覚できた。（薬学科）
- この実習を通して、障がいはその人がもつ個性の一つだという考え方に会った。障がいといわれる部分もあくまでその多様性の一部に過ぎず、障がいとして区別する意味はないように思う。（薬学科）
- 今回の介護体験実習において私が学んだことは、「気付き」の大切さだ。私ははじめ、創薬科学科である自身に介護体験実習にいく意味があるのか疑問に思っていた。しかし、5日間の実習を経て、「気付き」は直接患者さんと関わる医療従事者となる医・看・薬学科はもちろん、直接患者さんと関わるものがほとんどない創薬科学科においても必要なスキルだと感じた。薬の形状であったり、錠剤であれば薬の飲む錠数であったり、薬を飲む回数であったり、それらのことを研究・開発段階で考えるためには、薬を使用する人の様子から気付く必要があると思った。（創薬科学科）
- コミュニケーションとは会話をすることだけでなく、声掛けだったり、会話ができなくても身振り手振りを使って自分の意見を伝えることだということが分かりました。（創薬科学科）
- 今回の実習で私が学んだ大きなテーマは、「どんな介護や支援の先にも生身の人間がいる」ということです。（創薬科学科）
- 特別養護施設などの施設に入所されている方は、飲み込む力が衰えていて、錠剤や丸薬を服用することは病気と同じくらい危険であると分かった。また、水を緩いゼリー状にして粉薬を混ぜて服用させることが多いことも学んだ。この

ことから、私は、ただ病気に効く薬を開発するだけでなく、患者さんが服用しやすい薬を開発することが必要であると分かった。（創薬科学科）

- 障害を持った方の特性を生かしながら、それを私たちも受け入れられる社会にしていきたい。それによって、本当の意味での共生社会を目指していきたいと思う。（創薬科学科）

関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。また、学生が勉学をさらに深め、日本の医療を担う「よき医療人」となれるよう、今後も引き続き尽力してまいります。

医療人の使命を育む

看護学科教務委員長 西谷 美幸

今年度も、大きな夢を描いて、看護学科の新入生が医療人としての第一歩を歩き始めました。看護学科では、1年次の前期から看護の専門科目である「看護学原論」が始まり、初回は、学生1人ひとりの「看護者としての夢」を公言するところからスタートします。数週間前まで高校生だった大学1年生が、それぞれの経験の中から描いた「人の心の痛みが分かる看護師」や「海外で活躍する看護師」「地域に貢献する保健師」「母子を護る助産師」などの夢を堂々と語ってくれます。私たち教員は、その夢を現実に叶えるために、持てる力を最大限に注ぎながら、ともに学ぶ覚悟をするときでもあります。大学には、学生1人ひとりの夢と、本学看護学科の夢である「看護学科のアドミッションポリシー：看護は人間の健康全般に関わる領域であり、病める人々のみでなく、その家族および地域で生活する多くの人々から、深い信頼と多くの期待が寄せられます。これに応えるためには、学生時代から、人間性の涵養とともによく学ぶ習慣を身につけることが必要です」を融合させて自律した医療人に育っていくことを様々な取り組みでバックアップする体制があります。

その特徴的な一つが、この「医療学入門」です。医学部、薬学部の学生すべてが、「医学とは」「薬学とは」「看護学とは」をともに学び、医療人や、病をもち自らの力で社会に貢献している患者および家族からの体験や生き様を学び、医療人としての自覚と責任を実感できる貴重な時間です。きっと、今だけでは受け取れない「宝物」をこの後で探り当てることになるでしょう。この授業は、講義をする側も受ける側も、その姿勢が問われる授業でもあります。学生の反応に講師は力をもらい、伝えたいものをより多く届けようと努力します。その思いが学生の心を揺さぶり、使命を育んでくれます。若い柔らかい感性に、医療人の志の「核」がつくられ、一つひとつの授業がそれを形作ってきます。

さて、「医療学入門」では、毎年4～5月に「全体討議」と「野外研修（立山）」が合同で行われます。入学して1か月ほど経ち、一人暮らしを始めたり、90分の大学での授業を受けたり、部活での活動に参加したり、アルバイトを始めたり、と目まぐるしい変化を実感している時期に、学生たちは、本音や苦労話、自律の決意や医療人として学ぶ決意などを話し、聞き、それぞれの思いと経験を共有していました。教員も、授業では見せない学生の「意思」に心を動かされ、同じ志をもつ仲間として、先輩として「看護を伝えたい」と使命を燃やします。

このように、医療人としての使命や、学生間および学生と教員間の関係をつくることのできる授業はとても貴重であり、これまでの学生と講師、教員、携わった多くの人々が代々つくってきたものでもあります。それを継続し、発展させていくことが私たちに課せられていることだとあらためて感じました。

毎年多大なご尽力で企画と運営をしてくださる先生方、ご協力していただいたすべての皆さまに感謝いたします。ありがとうございます。

Ⅲ 2024 年度活動報告

1. 医療人教育

医療人教育室では、医学・薬学・看護学の1年生が合同で学ぶ「医療学入門」授業のカリキュラムプランニングを担当しています。医・薬・看護の各領域の実務家教員による講義とともに、新入生医療学研修や心肺蘇生法講習、保健福祉介護医療施設における介護体験実習など、よき医療人としての基礎となる知識・体験が身につくようなカリキュラムとなるよう配慮しております。

また、学生に対し授業についてのアンケートを実施し、次年度のカリキュラム検討を行っております。

2024 年度 医療学入門授業内容

日程・ユニット		内容	講師・実施者
4月9日		イタイタイ病資料館見学	教員・学務課職員
4月12日	医療学概論	医療学概論・オリエンテーション	医学部長・薬学部長・医学科長・看護学科長・高村先生
4月26日	新入生医療学研修	医療系4学科グループワーク	新入生医療学研修タスクチーム
5月10日		心肺蘇生法講習	心肺蘇生講習タスクチーム
5月11日		立山研修	新入生医療学研修タスクチーム
5月24日	講義	個人情報保護	医療情報・経営戦略部 教授 高岡先生
5月31日		難病支援と難病患者の思い	富山県難病相談・支援センター相談支援員 沼田様、患者様
6月7日		コーチング法	保健管理センター准教授 石木先生
6月14日・28日		医療倫理	医学教育学講座 教授 高村先生
6月21日		医療と社会	NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長 山口様
7月5日		薬害再発防止のために	NPO法人ネットワーク医療と人権理事 花井様
7月12日		あったか地域の大家族	NPO法人デイサービスこのゆびとーまれ理事長 惣万様
7月26日	早期介護体験実習	介護体験実習オリエンテーション	医学教育学講座 武島先生
8月26日～9月13日		介護体験実習(期間内1週間)	
9月27日		介護体験実習事後グループワーク	

2. 医療人教育室運営管理

1. 医療人教育室運営会議

2024 年度 医療人教育室運営会議内容

4月	令和6年度 医療人教育室室員について	10月	令和6年度 介護体験実習アンケート集計結果について
	令和6年度 心肺蘇生講習タスクチーム構成員について		令和6年度 医療学入門アンケート集計結果について
	令和6年度 医療人教育室副室長の選任について		令和6年度 医療学入門成績評価について
	令和6年度 医療学入門について		令和7年度 医療学入門講義日程について
	令和6年度 新入生医療学研修について		令和7年度 新入生医療学研修実施検討タスクチーム構成員について
	令和6年度 医療学入門早期介護体験実習について		令和7年度 心肺蘇生法講習タスクチーム構成員について
4月 メール会議	介護体験実習受け入れ数調査・抗原検査費用について	12月	令和6年度 医療学入門成績判定(最終)について
6月	令和6年度 新入生医療学研修事後アンケート集計結果について		令和7年度 医療学入門講義日程について
	令和6年度 心肺蘇生法講習アンケート集計結果について		令和7年度 イタイイタイ病資料館見学について
	令和6年度 医療学入門早期介護体験実習について		令和7年度 早期介護体験実習について
	令和8年度 新教養教育科目「導入学習B」について	3月	令和6年度 医療人教育室予算について
7月	令和8年度 新教養教育科目「導入学習B」について		令和7年度 医療人教育室室員(案)について
	令和6年度 医療学入門 レポート遅延・未提出者について		令和7年度 新入生医療学研修実施検討タスクチーム構成員について
			令和7年度 心肺蘇生講習について
			令和7年度 介護体験実習施設開拓について

2. 広報活動

- ・ホームページにて活動案内
- ・2024 年度報告書の作成

IV 2025 年度活動計画案

1. 医療人教育

医療学入門の教科担当

- ・カリキュラムプランニング
- ・成績評価
- ・授業アンケート
- ・新入生医療学研修タスク支援
- ・心肺蘇生実習タスク支援
- ・早期介護体験実習タスク支援
- ・カリキュラムアンケート

2. 医療人教育室運営管理

- 1) 医療人教育室運営会議開催
- 2) 広報活動
 - ・ホームページによる広報活動
 - ・医療人教育室報告書の作成

